

# 保育園給食民間委託の拡大に関する要望書

平成18年4月より保育園給食の民間委託がひぐらし保育園と三河島保育園の2園で始まりました。

1年半が経過した現在、三河島保育園では短期間に非常勤栄養士が2回交替、ひぐらし保育園では副主任が5名入れ替り、パート職員が3人の配置に16名が交替勤務している状態です。

また、平成19年4月の原・さつきの2園委託に向けた入札においては「金額及び区の提示した条件が満たせない」という理由で、全ての業者が辞退し、1年延期となりました。

このような状況の下で、来年4月から一挙に6園の給食を委託する方針を打ち出し、各園で説明会を実施しましたが、「コスト重視で安全・安心・満足の面がおざなりになっている」との感想が多く保護者から聞かれました。

『食』は子どもたちの生活の基本をなすものです。その安全を守ることは、私たち保護者だけでなく、将来の社会の担い手を守るという意味から、地域にとっても大切なことです。安全で安心な食は、顔の見える関係の中でこそ保たれます。先行園のように、調理の担い手である調理士や子どもたちに食の大切さを指導する栄養士が頻繁に入れ替わるのでは、安全で安心な食は守れないと思います。

このような現状が改善されないまま、一挙に保育園給食の民間委託を拡大することは認められません。「サービス向上」がどの程度か、効率化はどの程度図られているのか、作り手の安定雇用に問題はないのかなど、時間をかけてきちんと検証を行い、結果を保護者に知らせるべきではないでしょうか。

以上のようなことから、三点について要望致します。

- ① 保育園給食の全園委託を見直し、一挙に6園の委託を実施しないで下さい。
- ② 既に委託を導入した園について、経験年数、雇用形態など業者選定基準を改善して下さい。
- ③ 区の栄養士の待遇などを見直し、安定的に配置できるようにして下さい。

2007年 月 日

荒川区長 西川 太一郎 様

名 前	住 所

保育園給食を考える荒川区民の会 代表者 筑本知子(荒川区公立保育園父母の会連絡会会長)

連絡先 E-mail:hoikuen-kyushoku@chikuchans.com